



報道関係者各位

2023年1月5日
横浜中華街発展会協同組合
理事長 高橋 伸昌



新年のご挨拶とお願い

新年明けましておめでとうございます。

皆さまには、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中はあたたかいご支援をいただき、誠にありがとうございました。本年も、横浜中華街発展会協同組合は、街と横浜地域の発展のために、積極的な活動を続けてまいります。何卒よろしく願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症が発生して早3年が経ちました。現在、国内では第8波下にありますが、感染防止対策を行いながら経済社会活動の正常化と発展に重点を置くウィズコロナ時代に突入しています。先月後半に中国がゼロコロナからウィズコロナに政策転換し、1月8日から入国者や感染者に対する隔離措置など撤廃されることが発表され、日本でも春節休みに多くの旅行客が来日されることによる感染拡大が懸念されています。

ちょうど3年前の1月、中国・武漢で報道が始まり、国内初の罹患者が神奈川県で確認（相模原市の男性）され、SNSを中心に「中華街は危ない」という風潮が始まりました。その10日後に迎えた春節では、「中国人が中華街に大挙して訪れる」という誤った認識が流布され、一気に来街者が減り、その後、根も葉もない噂による風評被害や酷い人権侵害被害も起こり、横浜中華街は街の存亡の危機に見舞われる事態となりました。

横浜中華街は、中華の文化・伝統をルーツとし、その継承と発展を活動の軸にしていますが、日本の土地に根差した商店街であり観光地です。来街される90%以上が日本在中の方で、テーマパーク感覚で異文化を楽しまれ、春節などの伝統文化行事ではその傾向は増します。中国から旅行などに来られる方の多くは、日本文化や買い物など日本でしかできないことを目的とされ、自国で体験できる中華の文化をわざわざ観光に来られる方はごく稀です。

今もこれからも、横浜中華街は、日本の街として地域のために努力を続けています。中国に関連した感染症や不祥事が起こるたびに、様々な憶測が流されますが、皆さまには、正しい情報を知っていただき、叱咤激励いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

<本件に対するお問い合わせ>

横浜中華街発展会協同組合 担当：入澤 info@chinatown.or.jp

TEL. 045-662-1252 FAX. 045-211-0593 www.chinatown.or.jp